

# 音楽科学習指導案

日時 令和4年8月24日(水) 5校時

場所 江別市立江別第三中学校

生徒 1年2組25名 男子9名 女子16名

指導者 蔵重恵梨

## 1. 単元(題材)名 音楽のおくりもの 中学音楽1「どんな特徴があるかな？」

教材曲：きらきら星変奏曲(作曲：W.A.モーツァルト)

7つのレベルのきらきら星変奏曲(作曲：角野隼斗)

## 2. 単元(題材)について

本単元は、音楽を形づくっている要素に基づく[共通事項]の取り扱いを学ぶとともに、これと関連する「音楽的な見方・考え方」を活用した学びへ発展させるように工夫したものである。音楽を形づくっている要素と曲想との関わりに気づかせたいと思い、設定した。地域の小学校との確認でも、コロナ禍においても音楽教育を絶やすこと無く、子どもたちに必要な音楽の共通事項を授業の中でしっかり身に付けさせたいと力を入れているところである。生徒の実態から、音楽を形づくっている要素のうち、速度や強弱、音色以外については感じ取ることが難しい傾向にある。そこで、既に着目できている「音色」以外の要素に目が向かうように、音色が限定されていて曲想が変わる本単元の「きらきら星変奏曲」を教材として扱うことが効果的なのではと考える。

## 3. 生徒の実態

男女分け隔てなく接し、明るく元気な生徒が多く、音楽が好きな生徒が多い。歌が好きな生徒が多いが、小学校の頃からコロナが流行したことにより、歌唱にあまり取り組めていないのが実態である。普段の授業でも歌唱やリコーダーについては、距離を保ったり、間隔をとったりしながらの授業を行っているので、大きい声で歌う、全員で合わせて一つの曲をつくりあげる楽しさなどを味わせることは残念ながらできていない。本授業も実技ではないが、音楽を形づくっている要素を知覚したり感受したりしながら、自分と同じ感覚をもっている、または、もっていないなど、交流することで、リズム・旋律・構成などの変化によって生み出される曲の雰囲気の違いに関心を持ち、楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組ませたい。

## 4. 単元(題材)の目標および評価規準

音楽を形づくっている要素がどんな印象を作りだしているか考え、交流し、自分が感じ取った音楽の良さを伝えることができる。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
「きらきら星変奏曲」の曲想およびその変化と旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。	・「きらきら星変奏曲」における音楽を形づくっている要素(リズム・旋律・構成など)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。 ・「きらきら星変奏曲」に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	リズム・旋律・構成などの変化によって生み出される雰囲気の違いに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

## 5. 研究との関わり

研究主題 確かな学力を身につけるための指導と評価の一体化  
～ICT 機器の効果的な活用を目指して～

### (1) 効果的な ICT 機器の活用

1人1端末となり、さまざまな場面で ICT 機器を活用することが増えた。音楽科の授業の中でも、指導と評価の一体化につながるような ICT 機器の活用方法を模索し、取り入れていかなければならないと考える。今回はジャムボードを活用することによって、鑑賞を経て感じた様々な思いを交流とともにより一層深めていきたいと考える。

### (2) 指導と評価の一体化

各単元で授業の冒頭に、「身につけてほしい力」と「何を学ぶか」の確認を行ったうえで授業を行い、授業の終末にはふりかえる時間を設けることで、学習内容の焦点化につなげたいと考える。

### (3) 指導計画の工夫

鑑賞の授業では、思っていたり、感じ取ったりしていても文章で書けない、うまく言葉で表現することが難しいという生徒もいる。『感じ取ったことを表す言葉』『聴き取ったことを表す言葉』のプリントを使い、自分が感じ取ったこと、聴き取ったことに近い感覚はどれなのかをそのプリントから探すように言葉かけを行い、表現するうえでのサポートとしたい。ループリックにもそのプリントから2個使うとB評価、3個以上でA評価になると示すよう心がけながら、日々の授業を行っている。

## 6. 単元の指導計画（2時間扱い）

時間	■ねらい ○言語活動等	評価		
		知	思	態
1	■音楽を形づくる要素を理解し、それぞれの関連が生み出す特質や雰囲気を感じ受することができる。 ○『感じ取ったことを表す言葉』『聴き取ったことを表す言葉』プリントを使って、感受したことを書く。	○	○	○
2	■音楽を形づくっている要素がどんな印象を作り出しているかを考え、交流し、自分が感じ取った音楽の良さを伝えることができる。 ○感受したことをプリントやジャムボードを用いて書き、他者と交流する。	○	○	○

## 7. 本時の目標（2/2）

音楽を形づくっている要素がどんな印象を作りだしているかを考え、自分の感じた音楽の良さを伝えることができる。

## 8. 端末の活用場面と方法

「きらきら星変奏曲」を鑑賞し、感受したことを書くなかで、特に自分の心が動いた瞬間の場面について、ジャムボードに付箋（メモ）を貼らせる。自分と同じ曲（変奏）で心が一番動いたメンバーでさらに集まり、なぜ心が動いたのか、ときめいたのかについて、ジャムボードの付箋を見ながら交流を深める。

9. 端末を活用するねらい

生徒同士がそれぞれどんな考えをもったのかが一目で確認することができるので、活用する。

10. 本時の展開

過程	○主な学習活動	◇教師の働きかけ	□評価の観点・方法 ※留意点 ☆教具
1. 導入 全体 6分	○元気よくあいさつをする。  ○前時の復習 モーツァルトの「きらきら星変奏曲」で どんなことを感じ取ったかの確認。	◇元気よくあいさつをする。  ◇「きらきら星変奏曲」のテーマを弾く。	※授業が始まる前にジャムボードを立ち上げる。
2. 展開	○本時の確認	◇モーツァルトではない「きらきら星変奏曲」を作っている人を紹介する。	
	<p>【今日の課題】音楽を形づくっている要素がどんな印象を作りだしているか考え、ジャムボードを使って交流し、自分の感じた音楽の良さを伝えてみよう。</p>		
個人 11分	○角野隼斗演奏の「きらきら星変奏曲」を聴きながら、それぞれのレベルに対して思ったことをプリントに記入する。  ○もう一度鑑賞する。  ○自分が1番印象に残ったレベルについて、ジャムボードの付箋機能を使い、共通事項の言葉と名前のみを書かせ、そのシートに貼る。(音色・リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱・形式・構成)	◇角野隼斗の「きらきら星変奏曲」はレベル7までバージョンがあること、感受プリントを参考にしながら思ったこと感じ取ったことをプリントに記入させる。(区切って聴かせる)  ◇1回目に聴いて特に印象に残ったレベルの部分に着目しながらもう一度鑑賞させる。(通しで聴かせる)  ◇のちほどグループ分けをして交流するので、詳しい感想ではなく、共通事項のみ記入させ、ジャムボードに付箋を貼らせる。	□「きらきら星変奏曲」における音楽を形づくっている要素(リズム・旋律・構成など)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したことを記入している。 ☆プリント □曲に対しての評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ☆タブレットを使って作業。 ジャムボードに付箋を貼る。 ※机間巡視
協働 18分	○1番印象に残った(心が揺れた)レベルごとに集まって、自分が貼った共通項目で感じ取った内容を交流し合う。	◇同じレベルに大人数がいた場合、グループを2つに分けたりしながら話し合わせる。心が揺れ動いた曲(レベル)が一緒でも理由(共通項目)は違うこともあるので、交流の中で自分が感じ取ったことをしっかり発表させる。	□感受したことを交流しながら自主的・協働的に学習活動に取り組みうとしている。 ☆タブレットを使って交流 ※机間巡視
3. まとめ 一斉	○レベルごとに自分たちが良い、心が揺れた(動いた)と思った理由を発表し合う。	◇共通項目の言葉を使いながら発表させるようにする。	□曲想およびその変化と旋律など音楽の構造について理解しようとしている。
個人 15分	○本時の学習を振り返って、自己評価をつける。  ○元気よくあいさつをする。	◇共通項目を理解しながら自分が感受したことを発表できたかを振り返らせる。  ◇三稜祭に向けて取り組む合唱でも、今回それぞれが感じとって音楽の良さ(共通項目)は、自分達の合唱にも意識しながら歌い込んでいくことで、良いもの(音楽)になっていくんだというのを伝える。  ◇生徒の頑張りを褒める。 元気よくあいさつをする。	□感受したことをもとに、自主的・協働的に学習活動に取り組みうとしている。 □曲の曲想およびその変化と旋律など音楽の構造との関わりについて理解しながら振り返っている。☆プリント

## 1 1. ルーブリック

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	「きらきら星変奏曲」の曲想およびその変化と旋律など音楽の構造との関わりについて理解し、タブレットを用いて自分の言葉で相手に伝えるように説明することができている。	次の①～⑤を全て満たしている。 ①自分にとっての価値を記入している。 ②①の根拠として、音楽に関する言葉を適切に3つ以上用いて知覚したことを記入している。 ③①の根拠として、感受したことを記入している。 ④②と③に関わりがみられる。 ⑤記述全体を通して具体的である。	リズム・旋律・構成などの変化によって生み出される雰囲気の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
B	「きらきら星変奏曲」の曲想およびその変化と旋律など音楽の構造との関わりについて理解し、タブレットを用いて説明することができている。	次の①～④を全て満たしている。 ①自分にとっての価値を記入している。 ②①の根拠として、音楽に関する言葉を2つ用いて知覚したことを記入している。 ③①の根拠として、感受したことを記入している。 ④②と③に関わりがみられる。	リズム・旋律・構成などの変化によって生み出される雰囲気の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
C	「B」を満たしていない	「B」を満たしていない	「B」を満たしていない

## 1 2. 授業者より（成果と課題）

音楽室に電子黒板がないことと、自分自身がタブレットを活用することが苦手なため、あまり積極的にタブレットを使用しての実践を行っていなかったが、今回、挑戦してみた。

ジャムボードを使用したことのある生徒は作業がスムーズだったが、使ったことがない生徒にとっては慣れるのに時間がかかり、入力に時間がかかってしまい、話し合い活動にもっと時間をかけたかったのだが、時間が十分に取ることができなかった。付箋を色分けすることで、視覚的に目立ち、どの共通項目に関心をもったのかが一目で分かるのは便利でいいなと思った。

モーツァルトの「きらきら星変奏曲」を聴かせたうえで、今回の角野隼斗の曲を扱ったのはよかった。派手にアレンジされたものを好む生徒が多いのかなと思っていたが、原曲になるべく近いアレンジの方が好きだという生徒や、短調で不協和音なんだけれど何か落ち着くと感じた生徒もいて、好みは人それぞれだということ、交流を通してなるほどねえとなる話が出てきてやってみて面白かった。

毎時間 ICT を活用しての授業をやるのは無理だが、今後も何かしらの場面で使っていきたいと思う。

## 1 3. 参観者より（江教研での話し合い）

- ・指導したい内容が盛りだくさんだったが、選曲が面白く、自分も扱ってみたいと思った。
- ・全部の曲を聴かせるのではなく、さらにしぼって聴かせてみるのもよかったかもしれない。
- ・生徒たちが一生懸命話し合い活動をしていたのがとてもよかった。
- ・『感じ取ったことを表す言葉』『聴き取ったことを表す言葉』プリントは、どんなことを書けばいいのかわからない生徒や、自分の感覚にどれが一番近いのかを確かめるうえで、わかりやすくいいと思った。

## どんな特徴があるかな？(きらきら星変奏曲)

1年 組 番名前 \_\_\_\_\_

<今日の課題>

音楽を形づくっている要素がどんな印象を作りだしているか考え、シャムボードを使って交流し、自分の感じた音楽の良さを伝えてみよう。

要素・・・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成

\*角野隼斗(すみのはやと)さん作曲のきらきら星変奏曲を聴いて、感じ取ったことを上記の要素の言葉を使って自分なりに表現してみよう。

Level 0 → テーマ

Level 1

Level 2

Level 3

Level 4

Level 5

Level 6

Level 7

\*心ときめいた Level にランキングをつけると・・・ \*ランキングに入らなかった Level はなぜ？

第 1 位	Level _____
第 2 位	Level _____
第 3 位	Level _____

\*グループで交流したこと MEMO (必要なことがあったら書いてみよう)

<自己評価>

- \*「きらきら星変奏曲」について、感受したことを要素の言葉を3つ以上使って書くことができた。  
( A ・ B ・ C )
  
- \*「きらきら星変奏曲」の良さについて積極的にタブレットを用いて自分の言葉で説明することができた。  
( A ・ B ・ C )
  
- \*「きらきら星変奏曲」のリズムや旋律などの変化によって生み出される雰囲気の違いに関心をもって、友達と一緒に話し合い活動に参加することができた。  
( A ・ B ・ C )

# 聴き取ったことを表す言葉

## <音色>

楽器の音色、音の音色、やわらかい、固い、高い、低い、鋭い、鈍い、太い、細い、響く

## <リズム>

はずむ、一定の、ずれる、細かい、不規則、○拍子の、拍のある、拍のない、ノリのある間がある、付点

## <速度>

速い、遅い、ゆったり、だんだん～、保つ、とても～、急に～、〇〇の速度、対比

## <旋律>

つながる、跳ぶ、高い、低い、上がる、下がる、長調（明るい）、短調（暗い）、長い音、短い音、かけあい、〇〇のフレーズ

## <テクスチャ>

重なる、ずれる、和音、ハーモニー

## <強弱>

強い、弱い、大きい、小さい、だんだん～、とても～、保つ、急に～、対比

## <形式>

～の部分、続く、終わる

## <構成>

繰り返す、変化する、対照的な、呼びかけたり応えたり

## <その他>

はっきりとした、あいまいな、ぼんやりとした、擬音語で示す（カンカン、そよそよ、せかせかなど）

# 感じ取ったことを表す言葉

## ＜比喩を使う＞

〇〇のような 例) 遊園地にいるような、お話するような

## ＜情景をイメージする＞

だれが？ 何が？ どこで？ いつ？

どんな風に？ 季節は？ 時間帯は？ 場所は？

何人で？ どんな物語？ どんな展開？

例) 夏の昼下がり、二人の子どもが草原ではしゃいでる

## ＜気持ちや気分を表す＞

自分の気持ちや気分を、次の表を参考にして表そう。

分類	感じ	分類	感じ	分類	感じ
楽しい	楽しい	激しい	激しい	優しい	優しい
	嬉しい		迫力がある		やわらかい
	うきうきした		盛り上がる		いつくしむ
	明るい		華やかな		かわいらしい
	元気な		パワフルな		優雅な
	スカッとする		情熱的な		甘い
	生き生きした		にぎやかな		うっとりするような
	鮮やかな		輝かしい		あたたかい
悲しい	悲しい	怖い	怖い	力強い	力強い
	寂しい		あやしい		堂々とした
	切ない		恐ろしい		勇ましい
	むなしい		絶望的な		壮大な
	重苦しい		不気味な		重々しい
	暗い		不安な		弾むような
	冷たい		ぞっとする		はつらつとした
落ち着いた	落ち着いた	静かな	静かな	その他	美しい
	和む		さわやかな		歌うような
	穏やかな		ささやくような		踊りたくなる
	のんびりした		繊細な		緊迫感のある
	あたたかい		ふんわりとした		ソクソクする
	のどかな		不思議な		おどけた
	ほがらかな		ふわふわした		とびはねている
	どっしりとした				軽快な

\* 空欄には新しく知った言葉をどんどん埋めていこう！